

ENGAWA

特集

スキルを活かして地域に貢献 -地域課題をビジネスで考える-

表紙 平成29年度 浜松市市民協働センター 1年間の活動



～表紙の言葉～ 『市民協働センター1年間を振り返って』

今年度、浜松市市民協働センターでは、写真のような講座や事業を開催しました。年齢、対象も様々です。1年間を通して、市民活動団体の皆様や、企業の皆様とも新たにつながる機会をいただき、その中から、協働(コラボ)できる事業もたくさん生まれました。ご参加いただき、ご協力いただいた皆様に感謝いたします。

次年度も、市民の力をまちづくりに活かせるように、中高生を対象とした人材育成、シニア講座やCSR関連事業等にも取り組んで参ります。これからも皆さんと共に、そして皆さんで素敵な浜松市を作っていきましょう。

発行 社会貢献活動を全力でサポート！
浜松市市民協働センター

〒430-0929 静岡県浜松市中区中央一丁目13-3
開館時間 9:00～21:30 | 休館日 年末年始(12/29～1/3)
TEL 053-457-2616 | FAX 053-457-2617 | mail: kyoudou@machien-hamamatsu.jp

谷野 剛一 氏

株式会社ジー・ディー・エス 代表取締役
NPO法人OHKUVO 代表理事

平成10年に浜松市田町に『宗家にんにくや』を開業。翌年に(株)ジー・ディー・エスを設立。以来、「炭火焼肉酒家 牛角」「かまどか」等の店舗運営及びエリアFC本部として、5業態64店舗を手掛けている。

一方で、平成27年に『NPO法人OHKUVO』を立ち上げ、地元である浜松市西区大久保町の放置竹林問題に積極的に取り組んでいる。

特集

スキルを活かして地域に貢献

「地域課題をビジネスで考える」

平成29年度「浜松市企業のCSR活動表彰」で、ローカル部門「優秀賞」を受賞した、『(株)G. D. S』代表取締役の谷野剛一さん。谷野さんは、企業の代表を務める傍ら『NPO法人OHKUVO』の代表理事を務め、地元である浜松市西区大久保町の地域課題と向き合ってきました。

会社の代表として、NPO法人の代表理事として、地域の課題と「どのように向き合い、貢献してきたのか」お話を伺いました。みなさんも想いを行動へ、一歩前に踏み出してみませんか？

(株)G.D.S設立

●きっかけは、お客様の笑顔

40歳を過ぎ、会計事務所に勤めていた頃、会計士として飲食店に関わった時、お客様が「美味しかったよ」「楽しかったよ」と笑顔で喜んで帰ってくれて、さらに会社の利益にも繋がり、こんな良いことはない！これは、世の中の為になるのではないかと、思いました。

大学で東京へ上京した時に「外食産業」に憧れを抱いていたこともあり、本格的に外食産業の道へと進みました。

●“食”を通して浜松の若者を元気にしたい

平成10年に浜松市中区田町に「宗家にんにくや」を開業。『浜松の若者が楽しみ、元気になればいいな』という思いがありました。

翌年の平成11年4月に(株)G. D. Sを設立しました。以来、外食を舞台に『心地よさ追求業』を理念に掲げ、現在では浜松市内を中心に、「牛角」や「姫物語」など5業態64店舗を手がけています。

地元“大久保町”の問題解決を！

●地元には様々な問題が

60歳くらいになった時、地元である「浜松市西区大久保町」で、自治会などの役員をやるようになりました。会社では、外食を通して多くの人々に喜んでもらっていますが、大久保町に目を向けると様々な問題があることに気がつきました。

●放置竹林問題を解決したい

昔、大久保町は「筍の里」と言われるくらい良質な筍が良く採れました。小学生の頃から竹藪に入り、筍を採っていたため、竹藪に対して愛着心を持っています。現在の荒れてしまった竹藪を見て、『何とかしなきゃいけない』と思いました。

●NPO法人を設立

平成27年に『大久保町の問題を解決しよう』と「NPO法人OHKUVO」を設立しました。町内の60～70代を中心に、23名で竹林整備を主に活動しています。

地域の課題をビジネスで解決

●課題解決をビジネスで考える

NPO法人を設立しても、資金がなければ運営はできません。そこで、地域の課題解決と、資金調達の両方が実現できる場として、これまで培ってきた起業や経営のノウハウを活かし、平成28年、大久保町に農園レストラン「緑の谷のごちそうテラス CoCoChi」を開業しました。

●放置竹林と大久保町の資源を活用

『竹で町おこしをしたい』ということで、「CoCoChi」では、竹のパウダーをパスタに練り込んだり、鶏のエサに混ぜて、栄養価の高い卵を提供したりと、メニューを工夫しています。また、「JAとびあ浜松大久保支店」は、日本一野菜の種類が集まる(年間約300種類)農協ということで、農家の方と連携を取りながら地元野菜を提供しています。

このように地元の資源を活用して、「竹」「卵」「野菜」の三本柱でレストランを運営し、2018年の4月で開業から3年目に突入します。開業当初に比べて、農家の方もすごく協力的になっています。



写真:①CoCoChiの外観 ②CoCoChiのビュッフェには地元野菜をふんだんに使用

～緑の谷のごちそうテラス CoCoChi～

浜松市西区大久保町1173

営業時間：11:00～21:30 / 定休日：年中無休

T E L : 053-489-3273

持続的な活動と地域づくりを

●持続的な活動を目指して

『NPO＝ボランティアで活動する』というイメージがあると思います。しかし、大久保町も昔に比べて子どもの数が減り、高齢化が進んでいることを考えると、ボランティア活動で続けていくことは無理だなと思いました。

そこで、NPOの活動に参加したら、少しの時給を出すようにしています。大久保町のために活動しながら、心の満足感と、多少のお小遣いが手に入るのが、やりがいの創出に繋がっています。

自分だけ儲けるとか、そういうことは考えないで「みんなと一緒に」というのを常に意識しています。



●将来への思い

CoCoChiの竹藪では、年間を通して、親子向けの体験イベントを開催しています。『大久保町では、若い人たちが安心して住めて、子どもを産んで、少子高齢化が進まないような状況になってほしい』と常に思っています。大久保町は若者が住んでくれる町だよねって。



写真

③竹林整備の休憩中。(左)谷野さん、(右)和久田さん。

④「筍掘り体験」の様子CoCoChiの竹藪にて。

「一歩を踏み出したい人へ」

～谷野さんからのメッセージ～

●想いを強く持つこと

「自分はこうなりたい」「町をこうしたい」という想いを持つことで、毎日の行動が変わってきます。想いを強く持っていれば、それだけで良いと思うんです。目標を紙に書いて、毎日読むと、さらに良いですね。

目的地に行きたい時、道を間違えてもすぐに軌道修正してくれる「車のナビ」と同じように、「ここに行きたい」という想いを持つことで、想う結果を出し続けられます。

生まれ育った地域の問題解決のために、これまでの経験や知識を活かして、ビジネスで課題解決に取り組む谷野さん。地元の方を巻き込みながら、課題解決へと踏み出した一歩は、大久保町の新たな地域資源の発掘へと繋がっています。

皆さんもこれまで培ってきた知識や経験を、生まれ育った地域や、今住んでいる地域で、活かしてみませんか？ その一歩が、地域の未来を変えるかもしれません。

Pick Up!!

忙しい毎日を送る『会社人』の皆様へ ～“社会参加”のススメ～

皆さんは、仕事以外で地域や社会との関わりが、どのくらいあるでしょうか？

今年度、2月16日(金)と3月15日(木)に市民協働センターにて、2名の講師を招き、講演を開催しました。主に、会社員や公務員、主婦などを対象に、「本職を越えて社会と関わること」について考えました。

講師の方のお話から、忙しい毎日を送る皆さんに、伝えたい内容をまとめました。社会参加の魅力について、一緒に考えてみませんか？



“二枚目の名刺”があたり前の選択肢になる世界

講師：廣 優樹 氏 (NPO法人 二枚目の名刺 代表)

“二枚目の名刺”とは...

本業以外でも社会を創ることに取り組む社会人が持つ名刺のことを言います。近年、二枚目の名刺を持って活動を始めた人が増えています。

具体的には...

- ・企業で働きながら、会社外で自分の経験スキルを活かしてNPOの取り組みを後押しする
- ・革新的な価値を創ることに会社の外で挑戦する
- ・子育て中の人自分が自分でプロジェクトを立ち上げる
- ・地域の活動にこれまでとは違う視点を持ち込み盛り上がるなどなど...

社会参加のススメ

自分がいる組織から離れて、本気で何かをやった時に初めて、会社の研修では得ることができない、学習効果が生まれます(越境学習)。

「社会のために、何かしたい！でも何をしたら良いのか分からない！」という方は、『自分は何者？どのようなことをしたい人間なの？』と、自分自身に問いかけてみてください。

動いた人だけが見ることができる世界へ！

～講座受講生の声～

- ◆「とにかくやってみる！」ということ学びました。
- ◆やりたいと思いつつ時間が経っていたのが、「やろう！」に変わりました。

“社会感度を高める”ことが大切

講師：戸成 司朗 氏
(NPO法人 中部プロボノセンター 共同代表理事／住友理工(株) CSR部長)

“社会感度”とは...

社会感度とは、社会課題に対する認識度を指します。“社会で、世の中で何が起きているのか？何が社会課題なのか？”これが分からなくて社会のニーズ、ウォンツに気が付くでしょうか？

社会人の皆様にとって、いかに社会感度を高めていくかが大切です。

社会参加のススメ

社会の色々な課題に取り組んでいる人たち(NPO法人等)と知り合うことで、今、世の中で何が問題なのかを実感し、社会感度が高まります。

「自分にもできることがあるの？」という方。もちろんあります。企業の中で普通に行われていること(PDCAのサイクルを回す、事業の分析を行う等)がスキルです。

社会が持続可能でなければ、自分だけが持続可能はありません。一人ひとりが、わが事として持続可能な社会をつくりましょう！



パートナーシップ・ミーティング
昨年の様子

おすすめイベント情報／(予告)

2018年7月1日(日)『パートナーシップ・ミーティング』
NPO団体、企業、行政等が集い、繋がる場です。昨年の様子や、最新情報は「浜松市市民協働センター」HPをチェック！



ご相談はお気軽に！！
浜松市市民協働センター
〒430-0929 浜松市中区中央一丁目13-3
TEL:053-457-2616 / FAX:053-457-2617
mail: kyoudou@machien-hamamatsu.jp

このチラシが不要になったら「雑がみ」としてリサイクル！